

宝小学校だより

ななさと

宝小学校だより

NO6

平成27年6月15日(月)

文責 梅田 茂男

林間学校特集号

林間学校に参加するあたって…学校長より ～友だちと力を合わせて集団の絆を高めよう！～抜粋

今の皆さんは、日々いろいろなことに対して、自分で考え、その解決方法や取り組み方を考えて、友だちや家族、先生に相談をする中で、自分として最善の方法で決定し、実行しているはずですが、そのことが、結果として「うまくいくとき」と「失敗するとき」があるかもしれません。しかし、その取り組みは全て、皆さんのこれからの「生きる力」となって身につけているのです。

今回の「林間学校」は、自分をさらに一回り成長させる絶好の機会であると思います。一口に林間学校と言っても、皆さんにとっては初めて訪ねるところであったり、初めて見るものであったりすることだと思います。しっかりと事前の取り組みのもとに、自分たちの計画に従って、実際に自分の足で歩き、自分の目で見て、肌で感じ、いわゆる「五感」を十分に働かせて、たくさんの体験、住んでいる宝地域との違い、その場所の人々とのふれ合いなどなど、普段の生活では経験できない、たくさんのことを学んでください。そのことが、皆さんをさらに大きく成長させてくれるでしょう。

また、友だちとの人間関係を成長させる機会でもあります。一泊二日の集団活動をとおして、友だちとの絆を深めるとともに、自立ある行動のとれる学級集団に高めてほしいと思います。班として、学級として、どのように取り組むことが最も良い方法なのかを、試行錯誤しながら行うことが大切です。そんな中に、今まで気づけなかった友だちの優しさを感じたり、決定力に驚いたりするかもしれません。

皆さんが決めた目標を達成し、一回り大きく成長し帰ってくることを期待しています。

13人の力を合わせて全力投球でやり遂げた林間学校！

林間学校テーマ 「笑顔で明るくけがのない楽しい林間学校にしよう！」

5月28日(木)～5月29日(金)に1泊2日の日程により、山梨県立ゆづりはら青少年自然の里へ5年生13名(男子7名、女子6名)と引率職員4名とで行ってきました。この2日間の様子をかいつまんで紹介します。

自然の里 入所式後にみんなでポーズ！

5月28日(木)第1日目

大勢の保護者の見送りの中、玄関前での開校式、ここからすでにしっかりと役割分担により式が進められ、バスに乗り込み出発！

入所式では、自然の里の所長さんをはじめ所員の方たちがあたたかく迎えてくださいました。



入所式を終えて、休む間もなく「ウォークラリー」の始まりです。先生方は、児童の来る前に各チェックポイントに待機。このウォークラリーコースのこんぴら山周辺は坂、坂、坂、たまに沢という約1時間のコースです。ある班の子どもたちは、植物図鑑を持っての余裕のコース巡りでした。どんな植物が見つかったのかな？山の上から眺める里の風景は絶景です。一人の児童の「やっほう」のこだまに、つられてみんなも「やっほう」。山彦が絶えることがありませんでした。また、ある児童は、大きなヤゴの抜け殻を見つけ興味津々。各チェックポイントにあるクイズには、班で相談しながら回答していました。

ウォークラリーで野山を駆け回りお腹もぺこぺこです。1日目の昼食メニューは、調理員さんが作ってくれた「豚丼」です。味もよく、たくさんの児童がおかわりをしていました。食事係は、準備も片付けもしっかりできました。

昼食後、ふれあい広場に集合し、所員の方の説明を聞き、ネイチャーゲームが始まりました。子ども一人一人タオルで目を覆い、目以外の他の感覚をとぎすませ、前の人の肩に手を添えて恐る恐るゆっくり歩きました。木の所にたどり着くと、今度は木に結わえてあるロープを手探りに、一人一人5m間隔で出発。わり



と早く進んでゆく児童と、慎重にゆっくりゆっくりと進んでいく子と、いろいろでした。途中で坂もありキヤッキヤッと叫びながらも楽しそうでした。

この後、シーツの敷き方などのオリエンテーションがあり、いよいよ、待ちに待ったメインイベント！「キャンプファイヤー」の始まりです。キャンプファイヤーには、なんと校長先生をはじめ、先生方、そして、



昨年まで宝小でお世話になった渡辺正司先生まで、駆けつけてくださいました。児童3名の流れるような司会で進行していきました。火の神を先頭に4名の火の使いが威厳を持って堂々と入場してきました。火の神の「点火」の言葉で4名の火の使いが同時に点火すると、勢いよく火は燃え上がりました。いよいよ、各班のスタンプの始まりです。まず、1班のスタンプは、「ボンニャン」の物語。2班は、浦島太郎物語。3班は、お笑い王座決定戦。3班しかないので、スタンプもあつという間に終わるのかな、と思っていたら大間違い。各班、配役と内容の工夫をこらし、みんなで大笑いのスタンプでした。5年生の今回のスタンプは、すばらしいアイデアによる内容や演技には大変驚かされました。ほんとうにお疲れ様でしたと言

たいと思います。その後、みんなで一緒に踊ったマイムマイムやジェンカは最高でした。この、キャンプファイヤーで、5年生の絆がより一層深まったような気がしました。

キャンプファイヤーの火もなくなり、次は、ナイトハイクです。駆けつけてくださった校長先生をはじめ、先生方がお化けに扮し所々に隠れ脅し役をしてくださいました。子どもたちは、もう大興奮です。夜中の自然の里に「キャー」「ヒャー」の声がこだましました。

キャンプファイヤーが長引いてしまったせいで、入浴時間が多少遅れてしまいましたが、急いでお風呂に入りました。男女ともお風呂も広く、子どもたちみんながそれぞれ一度に入ることができ、楽しい裸のつき合いができました。

その後、班長会議にて、一日の反省がありました。初日は、何事もなく無事に終わったことに感謝しました。

5月29日(金)第2日目

6時30分起床、洗面、寝具の片付け、身支度をした後、7時から「朝のつどい」が始まりました。健康観察では、みんな眠そうでした。ラジオ体操や国旗掲揚をしました。

朝食後、8時30分から清掃です。自然の里の玄関や多目的ホールの隅々まできれいに清掃してくれました。



そして、9時30分からは飯ごう炊さんとカレー作りです。カレー係り、フルーツ係り、釜戸係りとそれぞれが真剣に手際よく取り組んでいました。特に、釜戸係りの人たちは、所員の人たちの指導で燃し付けに使う杉葉拾いから始めました。火の燃やし方も木をどういふふうにおけば燃えやすいのか教えてもらい、後は、一切手出しせず燃やすのを見守りながら指導してくださいました。カレーもフルーツ(サラダ)もそして、ご飯もとても上手にできました。でき



あがったカレーライス、子どもたち一人一人が何杯もおかわりをした結果、ほとんど残飯がでませんでした。とてもおいしかったです。

林間学校も、いよいよ最後の勾玉作りです。この勾玉作りを楽しみにしていた子どもたちが多かったようです。とにかく、四角い石を紙やすりを使って、自分の描いた勾玉の形に削ることが大変！そして、大まかに勾玉の形になったら、磨く、磨く。最後に、バケツに入った



水の中で、磨く。すると、つるつるにとってもきれいに仕上がりました。できあがった勾玉に着色したい子は、マーカーで緑色や青色、ピンク色などそれぞれきれいに仕上げていました。世界にたった一つの自分で作った勾玉です。きっと、大事にするでしょう。こうして、2日間の林間学校も、あつと言う間に終わってしまいました。この2日間、子どもたちは、先生にほとんど指示もおおがずに、自分たちで考え、行動し、立派に様々な活動を行うことができました。目当てもしっかり達成できました。校長先生の言った五感を働かせて行動もできました。みんなと協力もできました。林間学校を終えて、5年生13名はまた一回りも二回りも大きく成長することができ、実り多い林間学校になりました。

この体験を生かし、今後の学校生活においてもさらに成長して欲しいと思います。